

特定開発事業温暖化対策計画書の概要一覧																														
【令和4年度】																														
番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行なう土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容								再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1				特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定期年月日	工事の完了予定期年月日	届出の状況						
				予定建築物の概要								特定期間 建築面積の 面積(m <sup>2</sup> )	エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	太陽光発電	太陽熱利用	バイオマス発電	LED照明設備	潜熱収容型給湯器	ヒートポンプ給湯器	その他設備※2						
				棟番号	用途	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	備考																							
001	横須賀市立総合医療センター	横須賀市神明町1番8	横須賀市長上地克明	特定開発事業を行なう区域の面積(m <sup>2</sup> )	計画建物1	病院	38,151.98	建築面積：7823.02m <sup>2</sup> 構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地上1階、地下0階	・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。 ・ガスカーボネレーションシステムを導入した。 ・LED照明設備を導入した。 ・熱源設備において、ヒートポンプ利 用設備(空冷ヒートポンプモジュール チラー)を導入した。(再掲)	・駐輪場・バイク置場4ヶ所設置。 ・利用者用駐車場5台、サービス・病院用駐 車場15台設置。 ・緊急車両用駐車場を確保。	・既存樹木(シラカン)の保全を行っ た。 ・外構綠化指數が10%以上、かつ中高 木を植栽した。	・路盤材等、グリーン購入法建材を積極的に活用した。	△	△	●	●コージエ	・棟番号1 ・計画建物1 ・総合評価 ★★★B+ ・地球温暖化への配慮 ・ライフサイクルCO2排出 率 99% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3以上	2022/9/1	2024/11/14	2024/10/3 事業名称 建築面積 延床面積 措置の内容	2024/10/8									
002	相洋産業株式会社新工場新築工事	小田原市堀之内字堀田28番1-21番1-21番4-32番9-32番11-32番13-41番13-48番8 小田原市中曾根字堂免4番1	相洋産業株式会社 代表取締役 内田治光	昭和47年1月より、現在地で事業活動を始め、現在も創業時と同一の所在地で運営しています。現在地は小田原市街地の中心地のため、工場敷地の拡大化や工場屋根の改築等も難しいため、工業地域内の一団の計画地へ全工場施設を新築移転し、事業活動の近代化と増産化を計画致します。	1	事務所 加工工場	4,516.88	建築面積：3,901.40m <sup>2</sup> 構造：鉄骨造 2階建	・事務所、加工工場の建築物に太陽 光発電設備を導入した。(定格出力 566.3kwを設置)。 ・照明灯をLED照明設備とした。	・小田原市開発事業条例で定められて いる緑化基準6%並びに工場立地法の 緑化基準6%の緑地帯(緑地) 25%を上 回る緑地帯 (緑化面積1,555.67m <sup>2</sup> 及び 環境施設2,889.49m <sup>2</sup> ) 合計4,445.16m <sup>2</sup> 緑化率25.24%を設置した。(再掲)	・工場への出入口を2箇所に限定し、 周辺道路交通への配慮を行った。 ・工場敷地内に十分な駐車場を設置し、 従業員をはじめ、来場者並びに工 場活動苦楽車の場外駐車の防止を実施 した。 ・建物周辺には広い空地を設け通風 に努めた。 ・地下水を機械冷却水として利用する ことで設備からの排熱の低温化を図つ た。	・小田原市開発事業条例で定められて いる緑化基準6%並びに工場立地法の 緑化基準6%の緑地帯(緑地) 25%を上 回る緑地帯 (緑化面積1,555.67m <sup>2</sup> 及び 環境施設2,889.49m <sup>2</sup> ) 合計4,445.16m <sup>2</sup> 緑化率25.24%を設置した。(再掲)	・低燃費型建設機械を積極的に採用し た。 ・アイドリングストップを励行した。	●	586.3	△	●	△コージエ	・棟番号1 ・総合評価 ★★B+ ・総合評価 ★★★B+ ・地球温暖化への配慮 ・ライフサイクルCO2排出 率 80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.0 以上	2022/10/1	2024/2/25	2024/3/26								
003	(仮称)横浜福浦西新築工事	横浜市金沢区福浦3丁目1番4-11番5	横浜福浦特定会員会 社取締役 林 令史	賃貸物流施設の建設	1	倉庫	60,043.06	建築面積：20,663.00m <sup>2</sup> 構造：S造地上3階、地下1階	・熱源設備において、ヒートポンプ利 用設備(ヒートポンプ冷暖房機)を導入 した。 ・高効率な冷暖房設備(全熱交換器)を 導入した。 ・高効率な照明設備(LED照明)を導 入した。 ・太陽光発電設備を導入した。(定格 出力2,533.44kW)	・横浜市開発事業の誘致等に関する条 例に基づく10%以上の緑化を図った (緑化面積3,437.18m <sup>2</sup> 、緑化率10. 20%)。	・事業の目的・用途に応じ、必要な駐 輪場を整備した。 ・開発区域内の走行ルートを指定し た。 ・荷捌き場を確保した。 ・事業の目的・用途に応じ、必要な駐 車スペースを確保した。	・植栽帯、緩衝緑地帯を整備した。 ・車両、重機のアイドリングストップ の推進等、省エネルギー運転を実施 した。 ・エンジンの点検整備、タイヤ、ク ローラの点検整備を行った。	●	2,533.44	△	●	△コージエ	・棟番号1 ・【参考】CASBEE横浜 による総合評価 A★ ★★★以上	2022/12/21	2024/2/20	2023/12/11 再工不活用検討 措置の内容	2024/2/6								
004	Weins Town Ebina(仮称)	海老名市中新田字二番田328番5ほか70筆	ウエインズアセット 株式会社 代表取締 役 宮原 漢二 No.1 管理棟、小型コテージ No.2 飲食店及び物品販売業を営む店舗、自動車庫 No.3 物品販売業を営む店舗、自動車修理工場の新築	17,492.24	1	ホテル	326.27	構造：地上1階 1棟 建築面積344.18m <sup>2</sup>	・LED照明設備を採用した。 ・敷地外周に緑化を実施した。 ・海老名市住みよいまちづくり条例で 定められている緑化基準20%を超える 緑化を実施した。(再掲)	・交通の円滑化として駐車スペース を設けた。 ・駐車台数294台、駐輪台数10台を配 した。 ・進入と退出を別々にして周辺交通へ 配慮した。 ・歩道など可能な部分を透視性舗装と して雨水を路面化に渡させること により、雨水流出抑制(下水道への負 荷減輕と都市河川氾濫抑制)を図つ た。	・海老名市住みよいまちづくり条例で 定められている緑化基準20%を超える 緑化を実施した。(再掲) ・建物内に於いて自然光を積極的に取 り入れるよう吹き抜け空間や室内の 高い位置に窓(ハイサイドライト)を 設けた。	・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用し た。	△	△	●	△コージエ	【棟番号5】 ・総合評価 ★★B-以上 ・地球温暖化への配慮 ・ライフサイクルCO2排出率 25%	2022/9/16	2023/9/20	2023/1/1 開発事業者 2023/10/1 申請 延床面積 建築面積	2023/10/10									
005	三井不動産ロジ スティックスパー ク海老名南	海老名市本郷下谷津351番1他22筆	三井不動産株式会社 代表取締役 植田 俊	倉庫業を営む倉庫の新築	18,111.83	1	倉庫業を営 む倉庫	37,458.14	建築面積：9,540.67m <sup>2</sup> 構造：鉄骨造 地上4階、地下0階	・太陽光発電設備の導入(定格出力 528.55kW)。 ・高断熱建材を用いた建物の断熱化。 ・照明器具については、LED照明を採 用。建物の窓ガラスは、遮熱効果のある Low-eガラスを採用。(再掲)	・駐車場、駐輪場、バイク置場を設 置。 ・荷捌き場(トラックバース)、ト ラック待機場を設置。 ・電気自動車充電設備(一般車用・ トラック用)を整備。(再掲)	・海老名市住みよいまちづくり条例で 定められている緑化基準20%を超える 緑化。(3,809.32m <sup>2</sup> 、21.0%) (再掲)	・低燃費型建設機械を採用。 ・アイドリングストップを励行。 ・グリーン調達を積極的に実施。	●	528.55	△	●	△コージエ	・棟番号1 ・総合評価 ★★★★A ・地球温暖化への配慮 ・ライフサイクルCO2排出率 45% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア 3以上	2022/11/1	2024/3/31	2024/2/13 措置の内容	2024/3/19							
006	(仮称)スパー ビーバーホーム湘南 平塚計画	平塚市黒部丘306番5号10室	アークランズ株式会 社 代表取締役 坂本 靖彦	商業施設(ホームセン ター・家電量販店・スー バーマーケット他)の建築	77,018.60	ホームセン タービル	55,268.17	建築面積：28,459.92m <sup>2</sup> 構造：鉄骨造 地上2階	・自然換気、自然採光を利用する建物 設計など。	・駐車場を設置した。 ・建物東側に伸びた形状とした。 ・メイエントラントに風景面を設置し た。	・屋上緑化、壁面緑化を実施した。 ・前開公園を配置した。(再掲)	・屋上緑化、壁面緑化を実施した。 ・荷捌き場を確保した。 ・段差を解消し、歩きやすく快適な歩 道を整備した。	・低燃費型建設機械を積極的に採用し た。	△	△	△	△コージエ	・棟番号1 ・総合評価 ★★B-以上 ・地球温暖化への配慮 ・ライフサイクルCO2排出率 78% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア 2.0	2022/12/10	2023/12/25	2023/7/31 ・区域の面積 ・延床面積 ・建築面積 ・構造の内容	2024/10/2								

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1				特定建築物に係る地球温暖化対策の指標の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の指標の評価の結果	工事の着手予定期年月日	工事の完了予定期年月日	届出の状況								
					予定建築物の概要				太陽光発電 定格出力 (kW)	太陽光発電 利用 率	バイオマス発電 利用 率	水力発電 利用 率	潜熱 収回型給湯器	LED照明設備 利用 率	ヒートポンプ 利用 率	その他 設備 ※2	その他													
					特定開発事業を行なう区域の面積(m <sup>2</sup> )	棟番号	用途	延べ面積(m <sup>2</sup> )																						
008	(仮称)厚木市三田特定流通業務センター計画	厚木市三田字新田2065番2外45筆	株式会社SHO厚木、代表社員一般社団法人SHO厚木職務執行者福永隆明	流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法規に則り国土交通省(特許庁)より認可を受けた。建設資材及び運送業務の統合、保守等、構造化されることや、輸送業者の集約化による効率化が図られる。また、出荷作業時間の短縮、荷役コストの削減、ドライバー等労働環境の解消、交通量の削減、CO <sub>2</sub> の削減による環境負荷の低減などの効果を目的とする。	22,319.19	1	工場・事務所	20,269.41	建築面積: 8,709.42m <sup>2</sup> 構造: S造 階数: 地下0階、地上3階	エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電 定格出力 (kW)	太陽光発電 利用 率	バイオマス発電 利用 率	水力発電 利用 率	潜熱 収回型給湯器	LED照明設備 利用 率	ヒートポンプ 利用 率	その他 設備 ※2	特徴的な建築物に係る地球温暖化対策の指標の目標	特徴的な建築物に係る地球温暖化対策の指標の評価の結果	工事の着手予定期年月日	工事の完了予定期年月日	変更届	完了届等		
						合計		20,269.41		・太陽光発電設備を導入した。(定格出力: 1,019.52 kW) ・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図った。 ・積極的にLED照明設備を導入した。 ・熱源設備において、ヒートポンプ利活用設備を導入した。 ・換気は全熱交換機を導入した。	・神奈川県土地利用調整条例審査指針第5章第3により乙地帯により、開発区域面積の25%以上の緑地面積が必要であるため、本計画ではそれを超える27.0% (6,027.05m <sup>2</sup> ) の緑地面積の緑化を行つた。 ・自転車利用環境の整備として、駐輪場スペースを40台分設けた。 ・木暮市駐車施設条例により、事業画面内に駐車施設を80台設置した。	1019.52	△			●	△コージェネ ●高効率空調設備	特徴的な建築物に係る地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量 75% ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上		2022/8/15		2023/6/15	2023/5/26							
009	Project Seiryu Tech Park新築工事	小田原市国府津字三ツ寄278番1ほか3筆	Outerspace Development Japan株式会社 代表取締役リーチュン・タク	倉庫、事務所の新築	29,239.69	1	倉庫(駐車場含)	30,944.74	建築面積: 8,601.98m <sup>2</sup> 構造: PCaP造 地上5階 1棟	LED照明設備を採用する。 ・建物におけるエネルギー需要の抑制とし、断熱化を図る。 ・太陽光発電設備設置(定格出力270.84 kW)。 ・高効率な冷暖房設備(全熱交換機)を導入する。	・敷地外周に緑化を実施する。 ・建物内に開拓する手続及び基準に沿って緑化を図る。 ・雨水を路面下に浸透させることにより、雨水流出抑制(下水道への負担軽減と都市河川氾濫抑制)を図る。	・交通渋滞の緩和として駐車スペースを確保する。 ・駐車台数46台、駐輪台数20台 ・出入り口2箇所で周辺交通へ配慮した動線設計とする。	・小田原市開拓事業に係る手続及び基準に沿って緑化を図る。 ・雨水を路面下に浸透させることにより、雨水流出抑制(下水道への負担軽減と都市河川氾濫抑制)を図る。	・アイドリングストップを励行する。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。	● 280.84	△	●	△コージェネ ●高効率空調設備	特徴的な建築物に係る地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量60から80% ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上	2023/4/1	2024/3/31									
						2	待合・休憩室	40.34	建築面積: 42.36m <sup>2</sup> 構造: RC造 地上1階 1棟	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。															
						3	守衛室1	16.00	建築面積: 20.80m <sup>2</sup> 構造: RC造 地上1階 1棟	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。															
						4	守衛室2	10.00	建築面積: 11.35m <sup>2</sup> 構造: RC造 地上1階 1棟	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。																
						合計		31,011.08																						
010	(仮称)サンインテルネット木猿ヶ島物流計画	厚木市猿ヶ島字後186番1ほか41筆	合同会社厚木1号開発代表社員サン都市建設株式会社代表取締役三田竜平	流通業務施設(輸送、保管、荷さばき、流通加工、その他の物資の流通に係る施設)の合理化を図る施設を建設する。	29,108.92	1	特定流通業務施設(倉庫)	27,054.03	建築面積: 13,861.95m <sup>2</sup> 構造: RC造 S造 2階	・太陽光発電設備を導入した。(定格出力356.95 kW)	・平塚市内の小学校9,000食/日と中学校6,800食/日を合わせた、最大15,800食/日の調理能力を1棟に集中して建設する計画で、リスクを分散するため、各棟の調理工程を分離する。	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。	△ 356.95	△	●	△コージェネ ●高効率空調設備	総合評価 A以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率60から80% ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0以上	2023/1/10	2024/9/30	2024/11/19							
						2	自転車置場1	15.60	建築面積: 7.80m <sup>2</sup> 構造: S造 1階	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。																
						3	自転車置場2	15.60	建築面積: 7.80m <sup>2</sup> 構造: S造 1階	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。																
						4	バイク置場	12.60	建築面積: 6.30m <sup>2</sup> 構造: S造 1階	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。	・自然換気、自然採光を利用する建物設計した。 ・積極的にLED照明設備を導入した。	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・二輪車、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・南側にオーブンスペースを設置した。 ・駐車場、大型車の出入口を分け、円滑な構内交通とした。 ・シートサーキット設置や、歩行者空間へ配慮した排熱設備の設置とした。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機械を積極的に採用する。																
						合計		27,054.03																						
011	(仮称)平塚市学校給食センター																													

## ※1 再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明

△：検討を行った設備

●：検討を行い、導入を予定している設備

◎：検討を行い、全量売電するために導入を予定している設備

※2 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他記

高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空気調和設備

LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車

コーデュネ：コーデュネレーションシステム（ガスエンジン給湯器及

## EMS：エネルギー管理システム（エネルギー消費量の計測、

### ※3 「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明

指置の内容：温室内への排出の抑制を図るために実施しようとする指置の内容

再工不活用検討：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があつた

措置及び評価の目標：特定建築物に係る地球温暖化対策の措置及び評価の目標に変更があった場合